

令和3年度 維持管理状況(7月1日～31日)

<工場設置計器の測定結果>

清掃工場名	焼却能力	炉番号	処分した一般廃棄物	ごみ焼却量	燃焼室ガス温度	集じん器入口ガス温度	排ガス中の一酸化炭素濃度(煙突)(O <sub>2</sub> 12%換算)	冷却設備及び排ガス処理設備に堆積したばいじんの除去	
	t/日			t	℃	℃	ppm		
有明	400	1号炉	可	5,657.61	955 ~ 1,132	172 ~ 175	3~26	ボイラ設備の除じんはボイラストロウ又はボイラ槌打装置により毎日実施する。ろ過式集じん器の除じんは空気式自動洗浄装置により毎日実施する。	
		2号炉		5,419.25	1,029 ~ 1,201	172 ~ 175	1~23		
千歳	600	1号炉		8,155.20	907 ~ 1,160	160 ~ 176	4~76		
墨田	600	1号炉		7,225.30	1,056 ~ 1,199	164 ~ 166	1~2		
北	600	1号炉		6,488.95	935 ~ 1,127	167 ~ 170	0~22		
新江東	1,800	1号炉		15,064.11	900 ~ 1,167	171 ~ 175	1~4		
		2号炉		13,098.35	895 ~ 1,133	171 ~ 176	0~36		
		3号炉		7,402.67	887 ~ 1,110	170 ~ 173	0~12		
港	900	1号炉		7,123.95	945 ~ 1,243	164 ~ 167	0~74		
		2号炉		7,946.76	948 ~ 1,215	165 ~ 171	1~149*①		
		3号炉		延命化工事					
豊島	400	1号炉		2,255.53	862 ~ 920	162 ~ 164	2~42		
		2号炉		4,655.57	865 ~ 921	160 ~ 162	0~39		
渋谷	200	1号炉		5,318.21	917 ~ 1,032	145 ~ 157	0~118*②③		
中央	600	1号炉		焼却炉停止中					
		2号炉		焼却炉停止中					
板橋	600	1号炉		1,891.38	907 ~ 1,174	160 ~ 163	0~1		
		2号炉		7,226.18	971 ~ 1,189	153 ~ 157	2~4		
多摩川	300	1号炉		3,842.55	879 ~ 1,017	154 ~ 156	0~4		
		2号炉		3,202.33	883 ~ 1,002	147 ~ 157	0~8		
足立	700	1号炉	8,706.71	889 ~ 998	172 ~ 174	3~8			
		2号炉	8,406.51	902 ~ 1,020	171 ~ 173	2~10			
品川	600	1号炉	3,727.09	921 ~ 1,155	169 ~ 171	0~21			
		2号炉	7,358.04	963 ~ 1,176	169 ~ 171	0~30			
葛飾	500	1号炉	5,928.45	973 ~ 1,129	159 ~ 165	2~23			
		2号炉	6,131.64	964 ~ 1,102	160	3~81			
世田谷	300	1号炉	4,168.28	876 ~ 1,000	167 ~ 180	0~73			
		2号炉	2,246.66	891 ~ 988	167 ~ 185	0~57			
大田	新	600	1号炉	6,689.37	868 ~ 1,049	152 ~ 170	3~38		
		2号炉	5,143.82	854 ~ 1,078	153 ~ 168	5~32			
	第一	200	3号炉	5,025.55	839 ~ 943	164 ~ 166	1~33		
練馬	500	1号炉	6,454.17	845 ~ 1,015	155 ~ 170	2~26			
		2号炉	6,476.97	835 ~ 989	154 ~ 169	1~29			
杉並	600	1号炉	6,867.47	892 ~ 994	154 ~ 164	0~14			
		2号炉	6,807.69	883 ~ 966	152 ~ 158	0~12			
光が丘	300	1号炉	4,408.72	880 ~ 1,079	154 ~ 171	2~20			
		2号炉	4,378.56	882 ~ 1,068	155 ~ 172	2~21			

注:大田清掃工場 第一工場1、2号炉、中防灰溶融施設、破碎ごみ処理施設は休止しています。

測定値が維持管理計画値を超過した理由(※)

\*① 港清掃工場 2号炉 令和3年7月3日(土) 5:00

排ガス中の一酸化炭素濃度が一時間平均値で149ppmを記録した。

水分を多く含んだごみの投入が続いたため、ごみ供給フィーダの手動調整を行ったが、燃焼を安定させることができなかったことによる。

ごみ投入量の調整、フィーダ及びストーカの運転調整による適切なごみ層厚の確保、点検口からの燃焼状況を適宜確認し、燃焼状況を改善した。

\*② 渋谷清掃工場 1号炉 令和3年7月26日(月)7:00、令和3年7月30日(金)3:00

排ガス中の一酸化炭素濃度が、一時間平均値で令和3年7月26日7時に67ppm、令和3年7月30日3時に63ppmを記録した。

原因は、燃焼が不安定となり、燃焼空気が不足したことによる。

直ちに燃焼空気量の調整及び蒸発量設定値の変更による燃焼改善を図り、正常な燃焼状態に回復した。

\*③ 渋谷清掃工場 1号炉 令和3年7月29日(木)3:00、4:00

排ガス中の一酸化炭素濃度が、一時間平均値で3時に118ppm、4時に65ppmを記録した。

原因は、燃焼管理制御の一部に不具合があり、燃焼不安定となり、燃焼空気が不足したことによる。

制御システムの確認を行い、燃焼改善を図り、正常な燃焼状態に回復した。

令和3年度 維持管理状況(7月1日～31日) <工場設置計器の測定結果> より